

令和7年度第1回新潟市男女平等教育推進研究会概要

1 日時 令和7年7月17日（木） 15:00～16:30

2 会場 新潟市陸上競技場 第3会議室

3 出席者 ※敬称略

(1) 委員（五十音順）

相庭 和彦 新潟大学大学院教育学研究科 教授
石崎 和子 市民生活部男女共同参画課 課長
潤間 るみ 新潟市立大江山中学校 校長
籠島 浩二 新潟市立新津第一中学校 教諭
川又 由香 新潟市立岡方第一小学校 校長
小林 夕紀 新潟市立松野尾小学校 教諭
齊藤 綾子 にいがた女性会議 代表
佐藤 晃彦 新潟市立亀田西小学校 校長
中村 享香 新潟大学ダイバーシティ推進センター 准教授
長谷川 瑞 新潟市小中学校PTA連合会 副会長
早川 佳江 新潟市立上所小学校 教諭
林 洋一 新潟市立光晴中学校 教諭
牧野 剛 新潟市立中野小屋中学校 校長

(2) 事務局

内藤 浩悟 学校支援課 課長
庭野 六輔 学校支援課 総括指導主事
佐藤 貴子 学校支援課 指導主事
荒澤 寛美 学校支援課 指導主事

(3) 傍聴者

なし

4 会議内容

(1) 課長挨拶

- ・今年度は、これまで委員の方々からいただいた貴重な意見をもとに作成した「学習資料」の最終的な見直しと修正を行い、新たな「学習資料」を完成させる大切な1年です。
- ・「学習資料」の「活用の手引き」を作成し、令和8年度から学校現場で活用できるよう編集作業を進めていただきたい。

(2) 協議

① 小学校中学年用の学習資料について

- ・必要に応じてふりがなを振るとよい。
- ・学習資料①の次に④→③→②と展開することも考えられる。
- ・少数の中にも、「自分らしさが大事だ」と考えて行動してほしいが、大学生でも、やりたいことがあるのにジェンダーバイアスで取り下げってしまうことがある。
- ・学習資料④で「でも幼稚園では女の先生が多いね」などと揺さぶりをかけ、②③を通して自分事に戻って考えるというのはどうか。問い方を考えないといけないか。
- ・3年生の子どもの発達段階から、まず学習資料①「自分のこと」、そして②「自分と家のこと」、③「将来のこと」という流れが自然な展開だと考える。
- ・学習資料④を先にしたとして、自分の好きなことを発揮するために、得意なことを将来に見据えて考えていくのか。好きなこと、得意なことの2段階の支援が必要になる。

② 小学校高学年用の学習資料について

- ・1ページの一番下の四角囲みは消してはどうか。
- ・2ページの下グラフについて、過去のデータも掲載して、比べるのはどうか。

③ 中学校用の学習資料について

- ・1ページ目は、もっと学ぶ意欲を引き出すような工夫が必要ではないか。
- ・学習資料①②のグラフが上下で見ることができるとよいのではないか。
- ・学習資料①②③のグラフを関連させて分かることもあると思う。1ページにまとめてはどうか。
- ・グラフは大きい方がよい。気付いたことを記入する欄を削除してもよいのではないか。
- ・3つのグラフは2ページ目に入れて、1ページ目に小学校高学年の3ページ目にあるような内容を考えさせてもよいかもしれない。
- ・中学校社会で1ページ目の人口比率について、世界の国の資料として出ている。
- ・2ページ目の下の四角囲みが3ページ目にもあるので、削除する。
- ・3ページ目の「参考資料」について、一文目はこれでよいか。

(4) 副会長あいさつ

本日も活発な意見交流が行われました。皆様のこの会の成果が、この資料に反映されてよいものであればよいと思っています。